

R5 江田島市学校図書館リニューアルの歩み

オリエンテーション

いよいよ学校図書館のリニューアルの始まりです！職員全体での意識統一を目指し、オリエンテーションを行いました。学校図書館をなぜリニューアルするのか、学校図書館はどうあるべきかについての理解を深めました。

【内容】

- ・なぜ学校図書館のリニューアルが必要なのか
- ・学校図書館法とは
- ・江田島市立学校の現状
- ・読みたくなる・行きたくなる・使いやすくなる学校図書館のイメージ意見交流
- ・今後のプロセスについて



現状把握

最初に、学校図書館の現状を確認しました。レイアウトの課題はどこにあるのか、本の廃棄、更新はこれまでどうなっていたのか、蔵書管理の状況や利用状況なども確認し、アドバイザーの指導のもと、年間の作業過程を確認しました。



除籍・廃棄

記載されている情報が古くなった本や、表紙などがボロボロになった古い本は、学校図書館の蔵書目録から除籍し、廃棄する必要があります。アドバイザーの指導のもと、「学校図書館ガイドライン」なども参考にしながら、学校としての廃棄基準を決めて、除籍、廃棄の作業を行っていきました。



選書

「全国学校図書館協議会図書選定基準」を参考に、学校図書館としてバランスのとれた蔵書構成（「学習に必要な本」「旬の本」「読み継がれた本」「様々な分野の入り口となる本」等）にしていきます。バラエティに富んだラインナップを揃えるため、複本は購入しないようにしました。

また、図書カタログからだけの選書にならないよう、総額の何%は右の図のような方法で選書しようという目安を決めて選書していきました。

概要	比率	選書方法
買換え	17%	・内容の新しい図書に買替え ・同じ本を買替え
各教科等で必要な図書	39%	・授業等で参考にする図書・教科書 ・掲載作家の作品・発展教材等から選書
生徒の希望	3%	・生徒アンケートで優先順位の高い図書から選書
現物確認ブックガイドから	22%	・県立図書館選書ツアーにて選書 ・県立図書館貸出セットから選書 ・ブックガイド掲載図書から選書
各分野の基本図書	19%	・図書館ホームページ等から選書

【表】 図書購入総額に対する選書方法比率(例)

よりよい本を選書するために 2つのアイデア

① 広島県立図書館に行ってみよう！

広島県立図書館の児童図書コーナーにある本は、図書館司書によって厳選された良書でいっぱいです。今回は、県立図書館のご協力も得て、県立図書館にて選書ツアーを行いました。これはいいなと思う本をブックトラックに乗せて集め、背表紙を撮影させていただき、後日、書籍名を導入した図書館システムを活用して購入リスト化しました。



② 県立図書館の貸し出しセットを活用しよう！

広島県立図書館に行かなくても、厳選された良書を知ることができます。県立図書館が学校向けに貸し出しているセットは、分野等別に厳選された良書が数十冊入っています。このセットを借りて、実際に中身を見ながら、自分の学校にふさわしいものを選ぶのもよい方法です。



蔵書管理システム導入

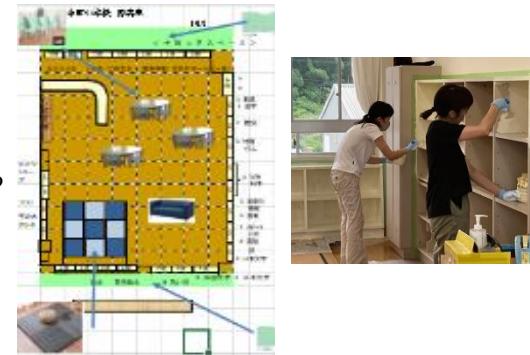
これまで、学校の図書の貸出は代本板を用いたり、蔵書管理もExcel等を用いて行っていました。今回、図書館流通センターの「TOOLi-S」という蔵書管理システムを導入することとし、蔵書管理や貸出・返却作業の電算化を行いました。合わせて、児童生徒用に「TOOLi-Sタブレット版 ぽけっと図書館」を導入。自分のパソコンから学校図書館の図書検索やお勧めの本の紹介などができるようになりました。



「TOOLi-Sタブレット版 ぽけっと図書館」の画面 (図書館流通センターHPより)

レイアウト検討

「学校図書館の環境整備について」を基に、学校図書館のレイアウトを考えました。具体的な観点（使いやすい・分かりやすい・違和感がない）に沿って、持続が可能な負担のかからない設えにいきます。配架する図書やゾーニングと環境整備の関連を考慮しました。また、古くなった書架にペンキを塗るなどの環境整備も行いました。



【図】レイアウト案

書架表示等の整備

電算化に向けて、現有図書のデータを入力し、分類記号を基に、背ラベルを作成・貼付けを行いました。また、図書表示を作成・表示しました。



テーブルやソファの設置

リラックスして読書ができるスペースや図書を使ってじっくり学習できるスペースを作るために新たなテーブルやソファを設置しました。

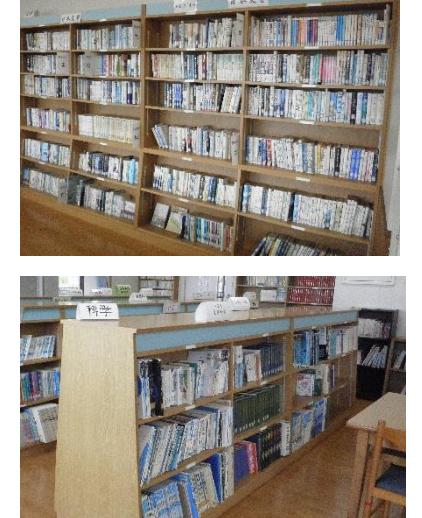
リニューアルの完成！ 実際の様子は裏面に！

中町小学校 学校図書館リニューアル



中町小学校の学校図書館は築年数も古く、くつろぎコーナーの畳も焼け、全体的にくすんだ雰囲気になっていました。また書籍も詰め込まれているものが多く、児童に読んでみたいと思わせる視覚的な工夫ができていませんでした。

能美中学校 学校図書館リニューアル



能美中学校の学校図書館は、グループでの学習机がスペースの大半を占めており、読書に親しむという空間にはなっていませんでした。書籍数は多いものの、古いものが多く、こちらも生徒に読んでみたいと思わせる視覚的な工夫ができていませんでした。

リ
ニ
ュ
ー
ア
ル
前

リ
ニ
ュ
ー
ア
ル
後



入り口は地域の特産品である「紙布」を活用し、中町らしさをアピール



書架を明るい色に塗り替えてリフレッシュ。書籍を面出して配架し、視覚的にアピール



ソファやスツールをおいて、リラックスして本を読むことができる開放的な空間を創出しました。畳スペースもカラフルな琉球畳を入れて現代的にアレンジしました。



日本十進分類法の大型看板を設置



学校教育目標に合わせた書籍を配架する中町っこコーナーを設置



フロアにあった書架の数を減らし、学習机を円形に変えたり、円形書架を導入することで、やわらかみがあり、開放感のある空間的を創出しました。



書籍を探しながら、ちょっと座って読むことのできるツールを設置



じっくりと学ぶことのできる学習ブースの設置



新しい書籍を購入し、面出しで配架することで、視覚的にアピール



くつろぎの読書スペース



総合文化部制作の季節の壁飾り